

卓 話

『アジア教育支援プロジェクト2014』

早川 悟史



1. プロジェクトのきっかけ

左図は、東日本大震災の時に日本のためにとベトナムの山岳地帯の子供たちが集めたものです。募金箱の中にはくしゃくしゃに折られたベトナムドンがたくさん入っていました。よく見ると500ドン札（約2円）や、1000ドン札（約4円）がほとんどです。ベトナムの子どもたちが貧しい暮らしの中でも、自分たちのお小遣いの中から気持ちをこめて募金してくれたことがよくわかります。数えてみると

募金箱の中には49万2500ベトナムドンが・・・。

一人1000ドン募金してくれたとしても、500人近くが募金に参加してくれたことになります。日本円にすると1970円位ですが、貧しい暮らしをしているベトナムの子どもたちにとっては大金です。子どもたちの想いの強さに胸が熱くなりました。

<フートゥー小学校の子どもからの手紙抜粋>

2011年4月に、私達の校長先生は、日本の学生を助けるために募金するよう皆に呼び掛けました。多くのベトナムの子どもたちがお小遣いからお金を募金しました。募金するお金がなかった人は、非常に悲しく、落ち込みました。何人かの小学一年生は500ベトナムドン（日本円で約2円）を募金しました。みんな日本のために募金することができて幸せに思いました。私たちはこの金額がそれほど多くないのを知っています。でも私たちの思いが日本のみなさん、そして子どもたちに届くことを祈っています。

受けた恩は、少しでも余裕がある日本人が返さずしてどうする！
こんな思いで始めました。

【2013年アジア教育支援報告】

アースバンク倶楽部として300万円を支援いたしました。

開校式でご挨拶もさせていただきました。

（別紙参照）

2014年アジア教育支援御協力のお願い

今年はラオスへの支援です。

（別紙参照）

ベトナム・ドンナイ省ビエンホア市 グエン・チー・タイン小学校

開 校 式 報 告

2013 年 9 月 23 日(月)9:00-11:30 グエン・チー・タイン小学校の開校式が開催されました。ベトナム南部らしい澄み渡る青空の下、新校舎の前にはたくさんの子どもたちの歓声が響きわたり、明るい笑顔があふれる開校式となりました。



<新校舎の前で子どもたちと>

◆開校式参加者:

(1)日本側

在ホーチミン日本国総領事館 総領事 日田春光 様 副領事 佐藤格朗 様、Anh 様
アースバンク倶楽部 代表 早川悟史 様、臼田繁浩 様

銀河ネットワークグループ 経営本部 角田廣行 様、望月圭剛 様、羽入由太郎 様、
宮部 裕 様、西牧 健 様

日本国際親善協会(JIFA) 専務理事 中迫節子 様、池田英人 様

アジア教育友好協会(AEFA) 理事長 谷川 洋、穴戸仙助、山田梨絵、坪井未来子

(2)ベトナム側

ドンナイ省教育局長 レ・ミン・ホアン様 他教育関係者数名

ビエンホア市人民委員会副委員長 ファム・アイン・ズン様 他数名

グエン・チー・タイン小学校 教職員 30名、児童 250名

VNAH カー・バン・トラン、トウイ トラン

◆在ホーチミン日本国総領事館 総領事 日田春光 様

本日、アジア教育友好協会様の支援による「グエン・チー・タイン小学校」の開校式に出席出来ますことを大変嬉しく思います。また、本日ご列席頂いております方々に心よりお喜び申し上げます。

近年、日越関係は戦略的パートナーシップに基づき、官民レベルで益々緊密になってきております。ここドンナイ省ビエンホア市はホーチミン市からも近く、昨今は日本企業のドンナイ省への進出も相次いでいることから、人口増加が続いております。グエン・チー・タイン小学校には 2,500 名を超える生徒さんが学んでおりますが、教室の数が足りず、過密状態でありました。今回、みなさまご支援により、5 教室が新しく建設され、子供たちの学習環境が改善されたことを大変嬉しく思います。

本年は、日越外交関係樹立40周年の記念すべき年であり、このグエン・チー・タイン小学校の建設事業も、日越友好年の記念事業として認定されております。今日の開校式が、日越友好年に又ひとつ花を添えることとなりました。

さてここで、今回の新校舎建設計画に対する賛同者のお一人であります、日本の安倍総理大臣のご夫人、安倍昭恵(あきえ)夫人からメッセージを預かっておりますので、私が代読させていただきます。「ベトナム・グエンチータイン小学校の皆様このたびは、新校舎の完成、誠におめでとうございます。日越友好年にあたり、日本とベトナムの友好と交流のシンボルとなる貴校の完成を、大変嬉しく思います。これからぜひ、皆さんの目標に向かって多くのことを学ぶとともに、日本とベトナムの架け橋となっていきたいと思っております。この新しい校舎で学び、遊んだ経験が、皆さんの大きな夢の実現の糧になることを心から願っております。 安倍昭恵」

以上、昭恵夫人のメッセージでございました。

最後になりましたが、ここにご出席の皆様と、この学校で学ぶ全ての子供たちのご多幸とご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。また、本日は誠にありがとうございました。



◆アースバンク倶楽部 代表 早川悟史 様

皆様こんにちは。本日はこのような素晴らしい開校式に参加でき、大変うれしく思います。私は、皆様の国ベトナムに今回支援させていただいたのには理由があります。

一つ目は、私が小学生の時皆さんと同じベトナム出身のクラスメイトがいました。彼は頭が良く、私の得意だった算数で唯一彼には勝てませんでした。そのような頭の良い友人の故郷であるベトナムにとっても興味がありました。二つ目は、2年前の東日本大震災の時、ベトナムの方々は日本を思い、助けてくれました。そんな優しい心をもったベトナムの方々に恩返しをしたい。三つ目は、頭の良いそして優しい心を持ったベトナムの方々といつか仕事をしてみたいと思っています。ですので、この小学校に校舎を建てるための寄付をさせていただきました。この校舎で、沢山の子供たちが勉強をし、皆さんのベトナムの発展のために尽くし、そして世界の平和のために貢献するような人間が育っていただくことを願っています。将来ベトナム、日本、そして世界のどこかで一緒に仕事ができ事を楽しみにしています。ありがとうございました。



教育支援プロジェクト

場所	ラオス サラワン県タオイ郡 トウムリフン小中学校	
予算	65万円	
支援内容・期間	2014年	
	①先生の家新設 (マット、毛布、蚊帳等含む)	\$ 5,300
	②教員養成短大生徒の奨学金[1年分]	\$ 1,200
	————— 合計	\$ 6,500
建設・運営の管理	Village Focus International 代表 Rick Reece Association for Community Development 代表 Boualaphet Chounthavong http://villagefocus.org/	
期待される効果	<p>トウムリフン小中学校は、2010年度に地域の中心基幹校として建設されました。2013-2014年度、小学生1-5年生(ラオスの小学校は5年制です)約80名と、中学生1-4年生(中学は4年制)58名が、近隣6村から通っています。これまで中学が無いために、小学校までしか通えなかった生徒達にとって、地域で唯一中等教育を受けられる場所です。2014年6月には、初の中学卒業生が誕生します。今年度より、トウムリ地域出身の「カポさん」が、サラワン県教員養成短大の奨学生として、少数民族教員養成コース[3年間]で学んでいます。修了後は故郷に戻り、教壇に立ちます。山岳少数民族の子供達にとって、国の公用語「ラオス語」を学ぶことはとても重要です。一方、言葉の壁でドロップアウトしてしまう子供も多いのが現状。民族出身の教員が増えることで、初等教育修了率を向上します。</p> <p>(山岳地帯タオイ郡に於いて活動しているのは、日本のNGOではAEFAのみ。タオイ郡では、トウムリフンのほか、パチュドン、ブオンナム小中学校及び分校群を継続して支援しています)</p>	

